

小学5年・中学1年 家庭科学習指導案 指導者 竹吉昭人(小)・青木佳美(中)

1 題材名 『My 買い物チャート』で計画的な物やお金の使い方・計画的な金銭管理を考えよう

2 題材のねらい

(小) 物や金銭の計画的な使い方を理解するために、みそ汁の食材の買い物の仕方を考え、『My 買い物チャート』を作ることを通して、身近な物の選び方や買い方、購入するための情報の収集や整理など上手に買うための課題を見出し、買い物を工夫することができるようにする。

(中) 日々の家庭生活を営む上で支払われているものを思い起こし、収入と支出のバランスを見つめ直すことを通して、計画的な金銭管理の必要性を理解することから、物資・サービスの購入や支払い方法、消費生活を取り巻く問題への対応の仕方や、社会や環境に及ぼす影響など消費生活を多面的に捉え、課題を見出し、これからの消費行動を考え工夫することができるようにする。

3 授業の構想

家庭生活や社会生活が急激に変化していく中で、消費生活についても、消費者市民社会の担い手として、自覚をもって環境や社会に配慮した消費行動がとれるよう、自立した消費者を育成することが求められている。子どもたちを取り巻く消費生活も日々大きく変化してきており、18歳成年を2022年4月に控え、親権から離れ、契約などの法律行為を単独で行うことができることを考えると、小・中学校における消費者教育の必要性は言うまでもなく、消費生活における多面的な見方・考え方ができる子どもの育成は急務であると考えます。

本題材では、上記の点に着目して、中学校新学習指導要領で新設された内容である「計画的な金銭管理」と、小学校家庭科の「物や金銭の計画的な使い方」を中心に展開していく。消費生活に関する、物の選び方から、消費者被害、社会・環境問題など多岐に渡る諸課題を、子どもたちにとって一番身近な消費行動である“買いもの”を通して、その計画や金銭管理を考えることを軸に展開していこうとするのが今回の提案である。小・中学校共に、自分の消費生活にとって大切にしていきたい視点を“My 買い物チャート”にまとめていく。チャートの作成を通して、子どもたちの金銭管理についての思考の広がりや深まりが自覚できるようにしていきたい。また、チャートからは小・中学校の子どもたちの消費生活に関する視点の共通点や相違点が見えてくる。そこから、本題材についての小・中学校の系統性も明らかにしていきたいと考える。今の自分から将来の自分へ、自分や自分の家族から地域・世界に目を向けるといった、時間軸や空間軸の中で題材を捉えていきたい。小学校では、自分に任された金銭の範囲内での“買い物”を中心に、中学校では、自分から家庭へ目を向け、家庭での収支のバランスも考慮した“物やサービスの購入”を中心に扱い、消費生活の視点を小学校から中学校へ発達段階を考慮しながら広げていきたいと考える。

小学生については、調理実習で行った「ごはんのみそ汁」のふり返りを活かして、「家で作るみそ汁の食材の買い物計画を考えよう」ということをテーマに授業を展開していく。“欲しい”という願いと“買う”という実際の消費行動を上手につなぐための課題やその解決策を買い物チャートの作成を通して考えていき、子どもたち自身がこれからの買い物に生かせるようにしていきたい。

中学生については、普段の生活で購入しているものを振り返ることを通して、収入や支出のバランスを考えていく。生活に必要な物資やサービスの金銭的な流れを把握し、多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理が必要となる。そこを窓口とし、消費生活全般に目を向け多面的な課題を見出していく。売買契約の仕組みや消費者被害の理解や対応、環境や社会に及ぼす影響などその課題や解決策など考え、これからの責任ある消費行動を考え、チャートにまとめながらこれからの消費行動を工夫していけるようにしていきたい。

4 展開計画

【前期課程 5 年（小学 5 年）】

時間（全 6 時間）	内容【評価の観点】
1 時間	・自分に任された金銭の範囲内でみそ汁の食材の中から「みそ」を買うこととし、買うために考えなければならない視点を出し合い、現時点で自分が買い物の時に大切にしている視点を中心に My 買い物チャート(1 回目) を作る。【思・判・表】
2・3 時間	・目的に応じたよりよい商品選択に必要な視点を整理し、表示を見たり、ICT 機器を用いて検索したりしながら情報を収集し、自分の考えを My 買い物チャート（2 回目）に整理する。【知・技】
4・5 時間	・商品選択の前後に必要な事項について考え、お金や計画の大切さや売買契約の基礎について考え、その理解を深める。【知・技】
6 時間	・エシカル消費や SDGs の視点を踏まえながら、これまでの学習を活かして、計画から購入まで含めた My 買い物チャート（3 回目）を作成する。【主体性】

【後期課程 7 年（中学 1 年）】

次・時間	内容		
一次 【何を大切にして消費生活を送ればよいのだろうか】	1	商品を選ぼう①	①お金を支払いどのようなものを購入しているでしょう。自分で思い浮かぶもの+家族から聞いてくる 【宿題】 ①何を大切にして消費生活を送ればよいか考えてみよう。 ②商品「みかん」を選択する視点を班で話し合う。 ③選んだ視点を発表共有。
	2	家計（収入・支出）、契約について知ろう。	①ふぞくんの家族（日本の平均）の 1 か月の収入と支出を検討。 ②収支のバランスをとるために優先品目をあげる。 ③自分の家庭の消費を見て、自分の家庭の家計がもし赤字の場合どうするか考える。
	3	商品の購入方法や支払い方法の特徴を理解する。	①ふぞくんの家族の購入方法・支払い方法について検討する。 ②購入方法、支払方法の特徴を考える。 ③自分の消費を見て、様々な購入方法、支払方法をどの商品で用いたい考える。
	4	消費生活のトラブルと、その解決方法を理解する。【昨年のロールプレイング】	①消費者トラブルについてふぞくんの事例や DVD で知る。 ②アドバイスを考える。 ③消費者トラブルの解決策を考える。 ④自分の家族の事例でアドバイスを考える。
	5	商品を選ぼう②	①商品「ファンヒーター」を選択する視点を班で話し合う。 ②選んだ視点を発表共有。 ③何を大切にして消費生活を送ればよいか考えてみよう。【授業前と比較】
二次 【買い物で世界を変えよう】	1	消費者の権利と責任について考えよう	①消費者の権利と責任についてふぞくんの事例で知る。 ②アドバイスを考える。 ③自分の生活の中での権利や責任を考える。
	2	消費生活と環境について考えよう	①お弁当の選択を通しエシカル消費について考える。 ②自分の消費行動が社会に与える影響について考える。
	3・4 【家庭実践】	環境に配慮した行動を考えよう。	①自分や家族の消費生活の中から問題を見い出して、課題を設定し、計画を実践する。 ②レポートにまとめ、発表する。
まとめ	何を大切にして消費生活を送ればよいのか考える【授業前と比較】		